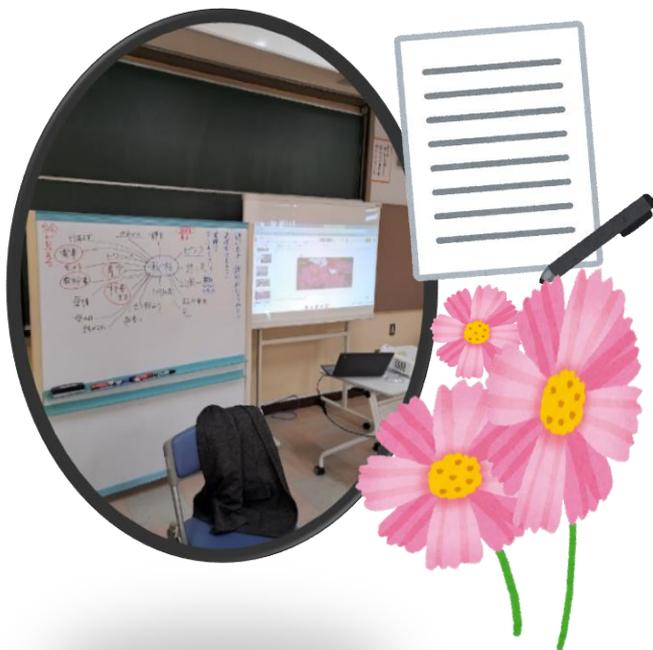


本区では、日常的に担任や教科担当者が子どもたちに俳句の授業を展開する取組をしています。各校への俳句講師の派遣事業では、講師と担任等が協力し合って指導しています。また、教員が、学習者の立場になって研修を受けることも多くあります。

右の写真は、先日実施した、教員研修会の様子です。実際には「立冬（11/7）」を過ぎていましたが、秋の季語で作りました。今回は、児童・生徒、教員一人一人に貸与されているタブレットを活用しました。

まず写真俳句です。タブレットで写真を撮り、写っているもので俳句を詠むというものです。「紙とペン」が写っていると気付いたA先生。『秋晴れやお茶と一緒に紙とペン』と画像をそのまま詠みました。「どうしよう。作れない」と頭を抱えるB先生に『秋晴れや何も浮かばぬ紙とペン』とアドバイスをしたら、その場にいた先生たちが大笑い。写真に写っているものを題材にすると、迷わずにすむ利点もあります。

次に検索機能の活用です。実物が入手できなくても写真等を見ると新たな気付きがあり、焦点化した俳句になりやすいものです。今回は「コスモス」を検索してみました。これも秋の季語です。自分の句に合わせ「コスモス〇（4音+助詞 or 切れ字）」でも「秋桜（あきざくら）5音」でも使うことができます。



教員同士で詠み合い、共感された俳句を紹介します。『誰かしら職員室にコスモスが』…素敵な気遣いのできる方がいますね。身近な感覚です。『片思いコスモス散らす恋占い』…どんな物語があるのでしょうか。気になります。1時間半の研修会があったという間に終わりました。『放課後の教員研修小春かな』でした。